

2012年7月31日

江南市教育委員会
教育長 石井 悦雄 様

尾北教職員労働組合
執行委員長 川 崎 徹

駐車料金廃止に向けての要請書

日頃は、江南市の教育行政にご尽力いただきありがとうございます。

さて、教職員の駐車に対して駐車料金が徴収されるようになり7年目となりました。教職員は、駐車料金を納得しているわけではありません。尾北教労が毎年行っている学校づくりアンケートには、駐車料金の徴収をやめてほしいという意見が多数寄せられています。私たち教職員は、江南市の教育に献身的に取り組んでいます。それに対して、なぜ道理もない駐車料金が取られるのか、行政は私たちの献身的な努力をどう思っているのか、という怒りであふれています。

江南市に勤務する教職員は、市内から通勤している人より、市外からの方がずっと多いのです。そして、通勤時に公共交通機関を利用するには難しい学校が多いのです。近年、多忙化が進み、時間外勤務や休日出勤が増えてきています。また、子育て世代の教職員が増えてきています。これらの理由により、自動車通勤に頼らざるを得ない教職員が多いのです。

自動車は公務にも使用されます。学校では、命令簿を出しての出張だけでなく、緊急使用も多いのです。登下校の際や下校後にトラブルがあったとき、夕方や夜に家庭訪問をするときなど、緊急に対処するために自動車を使うことがよくあります。教育活動を進める上で自動車はとても大切な役割を果たしているのです。

このように、教職員は通勤にも公務にも自動車を使っています。自動車での通勤と公務使用がなければ、江南市の教育は成り立たないといっても過言ではありません。

教職員は、学校教育に必要な自動車を、勤務時間中に駐めて、学校教育に専念しています。駐車は学校教育遂行上必要なものであり、「目的外使用」ではありません。

学校には、公用車が配置されていません。そのため、教職員は個人の自動車を公務に使用しています。市側から言えば、個人の自動車を借り上げて使用させているのです。本来ならば、教職員に借用料を支払うべきだと思われます。それが支払われないのであれば、少なくとも駐車料金を徴収してはなりません。

県内の瀬戸市では、8年間にわたって駐車料金徴収が行われてきましたが、この4月から無償となりました。理由は、「先生の車は、出張・子どもの家庭訪問・緊急時使用などの公務に使用されている」というものです。3月の定例教育委員会で、委員全員の賛成で決定されました。

瀬戸市と同じように、江南市でも駐車料金を廃止していただきたいと思います。

要請事項

- 1 駐車料金徴収をやめていただきたい。
- 2 定例教育委員会で駐車料金問題を議題として取り上げ、その廃止に向けて論議を進めていただきたい。

2012年7月24日

扶桑町教育委員会
教育長 中島 博明 様

尾北教職員労働組合
執行委員長 川崎 徹

駐車料金廃止に向けての要請書

日頃は、扶桑町の教育行政にご尽力いただきありがとうございます。

さて、教職員の駐車に対して駐車料金が徴収されるようになり7年目となりました。教職員は、駐車料金を納得しているわけではありません。尾北教労が毎年行っている学校づくりアンケートには、駐車料金の徴収をやめてほしいという意見が多数寄せられています。私たち教職員は、扶桑町の教育のために献身的に取り組んでいます。それなのに、道理もない駐車料金を取られている、行政は私たちの献身的な努力をどうしているのか、という怒りであふれています。

扶桑町に勤務する教職員は、町内から通勤している人より、町外からの方がずっと多いのです。近年多忙化が進み、時間外勤務や休日出勤が増えてきています。また、子育て世代の教職員が増えてきています。これらの理由により、自動車通勤に頼らざるを得ない教職員が多いのです。

自動車は公務にも使用されます。学校では、命令簿を出しての出張だけでなく、緊急使用も多いのです。登下校の際や下校後にトラブルがあったとき、夕方や夜に家庭訪問をするときなど、緊急に対処するために自動車を使うことがよくあります。教育活動を進める上で自動車はとても大切な役割を果たしているのです。

このように、教職員は通勤にも公務にも自動車を使っています。自動車での通勤と公務使用がなければ、扶桑町の教育は成り立たないといっても過言ではありません。

教職員は、学校教育に必要な自動車を、勤務時間中に駐めて、学校教育に専念しています。駐車は学校教育遂行上必要なものであり、「目的外使用」ではありません。

学校には、公用車が配置されていません。そのため、教職員は個人の自動車を公務に使用しています。町側から言えば、個人の自動車を借り上げて使用させているのです。本来ならば、教職員に借用料を支払うべきだと思われます。それが支払われないのであれば、少なくとも駐車料金を徴収してはなりません。

県内の瀬戸市では、8年間にわたって駐車料金徴収が行われてきましたが、この4月から無償となりました。理由は、「先生の車は、出張・子どもの家庭訪問・緊急時使用などの公務に使用されている」というものです。3月の定例教育委員会で、委員全員の賛成で決定されました。

瀬戸市と同じように、扶桑町でも駐車料金を廃止していただきたいと思います。

要請事項

- 1 駐車料金徴収をやめていただきたい。
- 2 定例教育委員会で駐車料金問題を議題として取り上げ、その廃止に向けて論議を進めていただきたい。